

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 観光 部 観光交流 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市今市宿市緑ひろば							
	所在地	日光市今市600番地1							
指定管理者	名称	一般社団法人 日光市観光協会							
	代表者名	会長 八木澤 哲男							
	住所	日光市今市717番地1							
指定期間		平成26年4月1日			～	平成31年3月31日		5	年間
選定方法		非公募		評価実施年		5年間のうち		4年目	
施設設置目的		日光市民及び日光市への来訪者が、郷土の歴史・文化・産業等に触れ、集い、安らぐことのできる場を提供するため							
主な実施事業		1・市緑ひろばの使用許可に関する業務 2. 市緑ひろばの使用に係る利用料金に関する業務 3. 市緑ひろばの施設、附属施設等の維持管理に関する業務							

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数	人	34,930	32,726	32,726	27,670	28,000	24,769	26,000	25,130	26,000	
b	利用料金収入	円	1,337,000	1,414,095	1,379,000	1,279,205	1,387,000	1,378,305	1,731,000	1,249,596	1,391,000	
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位: 円)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入計 A		8,371,248	9,509,561	8,579,687	8,341,868	0
指定管理料 利用料金収入 自主事業収入 その他	指定管理料	6,880,000	6,880,000	6,880,000	6,880,000	
	C	1,414,095	969,649	1,378,305	1,249,596	
		29,153	1,301,396	285,382	176,272	
		48,000	358,516	36,000	36,000	
支出計 B		6,089,499	7,769,196	8,801,922	8,016,787	0
指定事業費 内人件費 内外部委託費 自主事業費	指定事業費	6,089,499	6,933,829	8,085,670	5,536,316	
	D	3,285,623	1,581,950	4,275,124	3,892,144	
	E	1,618,472	1,632,108	1,595,359	1,644,172	
		0	835,367	716,252	0	
事業収支 A-B		2,281,749	1,740,365	-222,235	325,081	0
人件費率 D/B		53.96%	20.36%	48.57%	48.55%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		26.58%	21.01%	18.13%	20.51%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

利用者が気持ちよく利用できるよう職員の接遇の向上に努めた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	C	C	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	C	C	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
②サービスの 質の評 価	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
	連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	総括	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	C	C	
		避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	③安定性	施設管理	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
		利用者対応	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	C	C
利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。			B	B	
事業運営		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	C	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	C	B	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
所見 (成果・課題等)	環境配慮	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	C	C	
		利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	C	B	
経理事務		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
予算執行		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
経費縮減		経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
収支状況		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
総括		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
(指定管理者自己評価)					
施設利用者や観光客が安全、快適に施設を利用出来るよう、意見を反映し親切に適切な対応を行った。					
また、施設維持管理についても点検、修理等を適切に実施した。					
(所管課評価)					
ニコニコ本陣と連携して大型バスの駐車スペースを確保し、利便性の向上のための取組を行ったことから、施設利用者が増加している。					
また、平成29年度に歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館が開設され、平成30年度には、(仮)ふくろうの森石影館が開設されることから、これらの施設と連携した取組を行い、回遊性を高め、利用者の増加に努めて欲しい。					
前年度総合評価 ※5段階評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C 以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C 以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		